

Ⅶ-1 計画編（一方向出入口）

1-1 エレベータの仕様

- 荷物用エレベータは荷物の運搬を目的としたエレベータであり、荷扱者以外は荷物用エレベータを利用することが出来ません。
- 荷物用エレベータには、積載750kg～2500kgまでを取り揃えております。
荷物の大きさ、重さに応じて選定してください。
- エレベータの故障防止のため、次の注意事項を厳守くださるよう、お願いいたします。
 - ・ この荷物用エレベータは、フォークリフトの乗り込みに対応していません。※1
荷物の積み込みは、4輪手押し台車などをご使用ください。
 - ・ 一度に重い荷物を積み込むと、床が変形する恐れがあります。
荷物は、台車などの重量を含み積載の1/4以下に分けて積み込んでください。
- 積載の1/4より重い荷物を運搬する場合は、床の構造を強化することにより、
台車などの重量を含み積載の80%（最大1000kg）まで対応可能です。※2
詳しくは当社にご相談ください。

※1：フォークリフトの乗り込みが必要な場合は、機械室ありエレベータ適用となりますので当社にご相談ください。

※2：かご床強度増（有償付加仕様）適用の場合を示します。

フジテックのホームページで設計に必要な情報をご提供しています。

- BIMダウンロード
- CADダウンロード

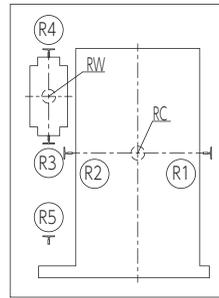
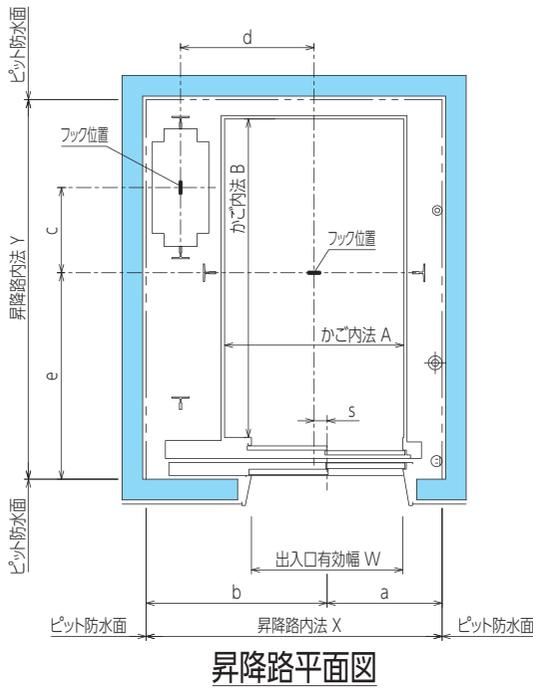
上記2つのサービスは、簡単な会員登録ですぐにご利用いただくことができます。

設計をお考えの方は <https://www.fujitec.co.jp/sales/>

1-2基本仕様

No.	型式	定格速度 (m/min)	容量 積載 (kg)	電動機容量 (kW)
1	F-750-2S-45	45	750	3.5
2	F-750-2S-60	60		4.6
3	F-1000-2S-45	45	1000	4.6
4	F-1000-2S-60	60		6.2
5	F-1500-2S-45	45	1500	6.9
6	F-1500-2S-60	60		9.2
7	F-2000-2S-45	45	2000	9.2
8	F-2000-2S-60	60		13.0
9	F-2500-2S-45	45	2500	12.0
10	F-2500-2S-60	60		16.0

1-3 昇降路がRC造の場合の寸法例

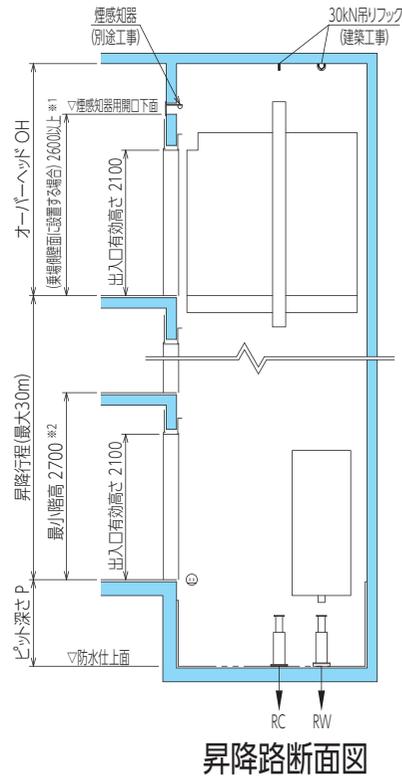


レールに作用する荷重値

Py	Px	Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◎	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 6500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+6500mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 4000mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+4000mm	(電気工事)
Ⓛ	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



※1. 乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。
 ※2. かが床強度増の場合、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッドOH	ピット深さ P	a	b	c	d	e	s
				昇降行程 30m以下							
F-750-2S-45	1300×2300	1100	2150×2740	3300	1250	835	1315	615	970	1490	95
F-750-2S-60											
F-1000-2S-45	1700×2300	1300	2550×2740			1135	1965	665	1445	1540	245
F-1000-2S-60											
F-1500-2S-45	2200×2400	1700	3100×2890			1135	1965	690	1445	1740	245
F-1500-2S-60											
F-2000-2S-45	2200×2800	1700	3100×3190			1185	2115	690	1545	1840	295
F-2000-2S-60											
F-2500-2S-45	2400×3000	1800	3300×3390	1185	2115	690	1545	1840	295		
F-2500-2S-60											

[注] ①昇降行程が30mを超える場合は、当社にご相談ください。

②昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。

また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。

④最大ピット寸法は2000mmです。

最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）

⑤ピット下部は原則として使用できません。

⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。

耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。

⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。

また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。

⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

⑩昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり等）によっては、

昇降路内法が大きくなる場合があります。

⑪かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

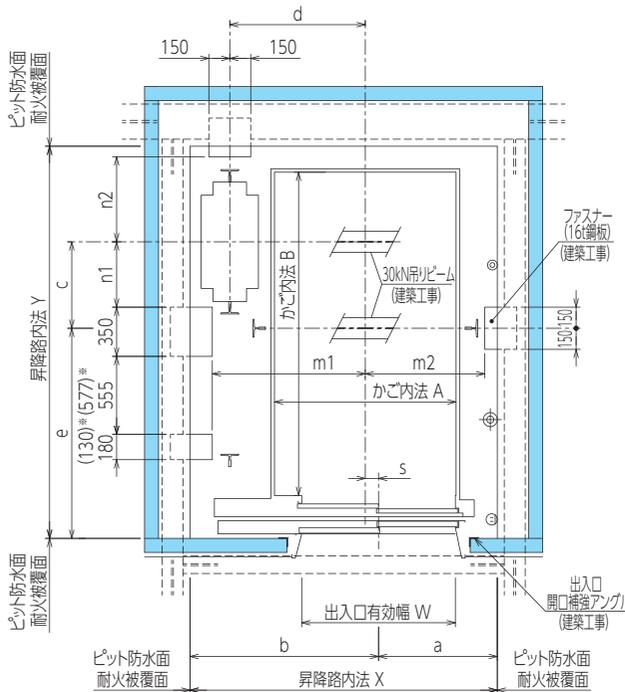
(単位：kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
F-750-2S-45	39	41	41	31	20	100	95	9.1	7.0	9.1	5.0	1.8	1.8
F-750-2S-60						124	119						
F-1000-2S-45	44	45	45	34	21	118	109	10.3	8.1	10.3	5.6	1.8	1.8
F-1000-2S-60						146	137						
F-1500-2S-45	51	42	43	43	31	141	123	12.4	8.9	11.2	5.8	1.8	1.8
F-1500-2S-60						175	156						
F-2000-2S-45	48	47	47	47	33	166	140	13.9	10.3	12.6	6.6	1.8	1.8
F-2000-2S-60						205	177						
F-2500-2S-45	69	55	56	56	37	192	160	16.8	13.4	15.6	8.0	1.8	1.8
F-2500-2S-60						237	202						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

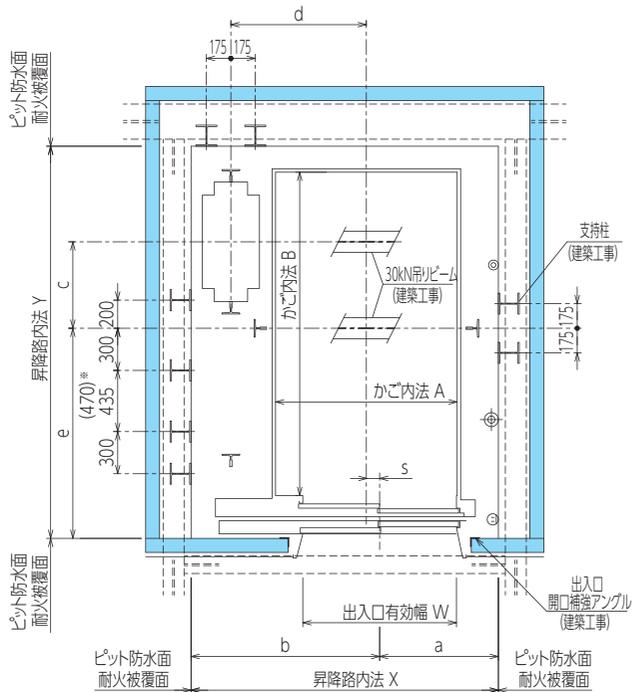
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

1-4 昇降路がS造の場合の寸法例



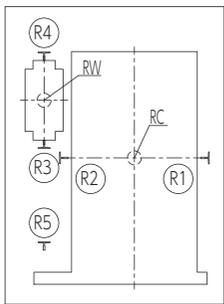
昇降路平面図
(ファスナーの場合)

※F-2500のみ()内寸法値となります



昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)

※F-2500のみ()内寸法値となります



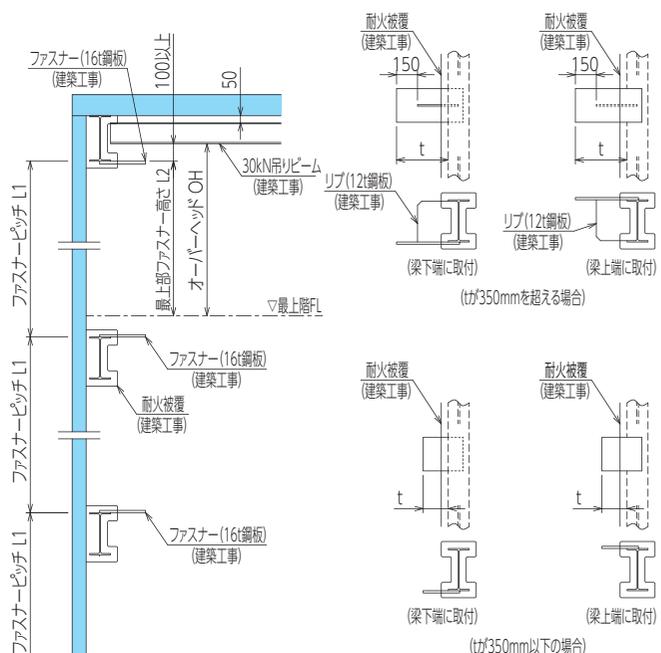
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

Py	Px	Py	Py
		かご	おもり
レール	レール	PC1	PC2
		PW1	PW2
		柱	柱
		PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

電源等を床面付近から引き込み場合	電源等を天井裏から引き込み場合	
○ NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 6500mm	○ NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+6500mm	(別途工事)
⊕ 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 4000mm	⊕ 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+4000mm	(電気工事)
⊙ 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	⊙ 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図

ファスナー取付詳細図

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH		ビット深さ P	a	b	c	d	e	m1	m2	n1	n2	s			
				昇降行程	30m以下														
F-750-2S-45	1300×2300	1100	2200×2790	3300	1250		850	1350	615	970	1495	1095	855	465	565	95			
F-750-2S-60							950	1650	615	1170	1495	1295	1055	465	565	195			
F-1000-2S-45	1700×2300	1300	2600×2790				1150	2000	665	1445	1545	1570	1305	515	615	245			
F-1000-2S-60							1150	2000	690	1445	1745	1570	1305	540	640	245			
F-1500-2S-45	2200×2400	1700	3150×2940				1200	2150	690	1545	1845	1670	1405	540	640	295			
F-1500-2S-60																			
F-2000-2S-45	2200×2800	1700	3150×3240																
F-2000-2S-60																			
F-2500-2S-45	2400×3000	1800	3350×3440																
F-2500-2S-60																			

- [注] ①昇降行程が30mを超える場合は、当社にご相談ください。
 ②昇降路内法はビット防水仕上の有効寸法です。
 また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
 ④最大ビット寸法は2000mmです。
 最大ビット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
 ⑤ビット下部は原則として使用できません。
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
- ⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
 また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
 ⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要となります。
 ⑩かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

(単位：kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
F-750-2S-45	39	41	41	31	20	100	95	9.1	7.0	9.1	5.0	1.8	1.8
F-750-2S-60						124	119						
F-1000-2S-45	44	45	45	34	21	118	109	10.3	8.1	10.3	5.6	1.8	1.8
F-1000-2S-60						146	137						
F-1500-2S-45	51	42	43	43	31	141	123	12.4	8.9	11.2	5.8	1.8	1.8
F-1500-2S-60						175	156						
F-2000-2S-45	48	47	47	47	33	166	140	13.9	10.3	12.6	6.6	1.8	1.8
F-2000-2S-60						205	177						
F-2500-2S-45	69	55	56	56	37	192	160	16.8	13.4	15.6	8.0	1.8	1.8
F-2500-2S-60						237	202						

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

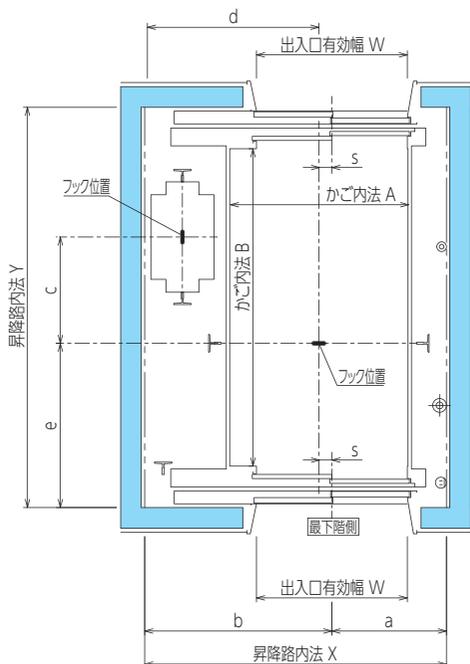
(単位：mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)	
		昇降行程	30m以下
F-750-2S-45	3200以下	2935～3020	
F-750-2S-60			
F-1000-2S-45			
F-1000-2S-60			
F-1500-2S-45			
F-1500-2S-60			
F-2000-2S-45			
F-2000-2S-60			
F-2500-2S-45			
F-2500-2S-60			

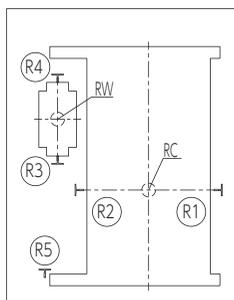
- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要となります。
 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
 ③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
 ④かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。

Ⅶ-2 計画編 (二方向出入口)

2-1 昇降路がRC造の場合の寸法例



昇降路平面図



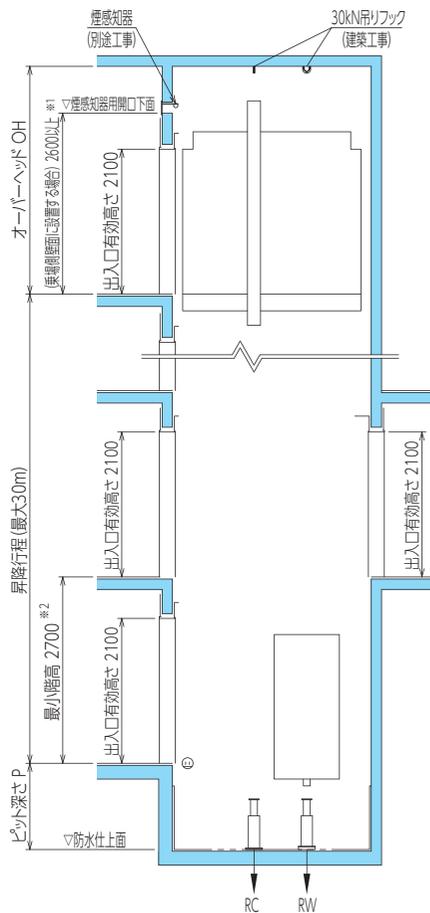
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

Py	かご	Px	Py
	おもり	PC1	PC2
	柱	PW1	PW2
		PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◎	NTTモジュラージャック 引き込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6500mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ:最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ:4000mm	電源引き込み位置 引き込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4000mm	(電気工事)
Ⓞ	点検用コンセント100V 引き込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



昇降路断面図

※1. 乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。
 ※2. かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH		ピット深さ P 注③		a	b	c	d	e	s
				昇降行程		標準	特殊						
				30m以下									
F-750-2S-45	1300×2300	1100	2200×2900	3300	1250	1650	835	1365	770	995	1190	95	
F-750-2S-60													
F-1000-2S-45	1700×2300	1300	2600×2900										
F-1000-2S-60													
F-1500-2S-45	2200×2400	1700	3100×3000										
F-1500-2S-60													
F-2000-2S-45	2200×2800	1700	3100×3400										
F-2000-2S-60													
F-2500-2S-45	2400×3000	1800	3330×3600										
F-2500-2S-60													

- [注] ①昇降行程が30mを超える場合は、当社にご相談ください。
 ②昇降路内法はピット防水仕上の有効寸法です。
 また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ③以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
 ・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
 開閉機着点検口を設けられない場合
 ④昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
 ⑤最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
 ⑥ピット下部は原則として使用できません。
 ⑦昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。

- ⑧上表の昇降路内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。
 適用ありの場合は下記寸法になります。
 ・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20
 ・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10
 ⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
 また、同コンクリートの強度は21 N/mm²（Fc21）以上確保ください。
 ⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
 ⑫昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり等）によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

荷重表

(単位：kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
F-750-2S-45	41	37	62	31	6	104	99	9.7	6.9	9.5	5.2	1.8	1.8
F-750-2S-60						129	125						
F-1000-2S-45	46	41	69	34	5	122	114	11.1	7.8	10.8	5.8	1.8	1.8
F-1000-2S-60						152	143						
F-1500-2S-45	54	46	46	46	30	152	135	13.5	9.3	12.1	6.3	1.8	1.8
F-1500-2S-60						187	171						
F-2000-2S-45	60	51	50	50	32	177	152	15.0	10.4	13.7	7.1	1.8	1.8
F-2000-2S-60						219	192						
F-2500-2S-45	71	58	58	58	36	209	177	17.6	12.5	16.3	8.4	1.8	1.8
F-2500-2S-60						247	212						

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

F
荷重用

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH		ビット深さ P 注③		a	b	c	d	e	m1	m2	n	p1	p2	s
				昇降行程 30m以下		標準	特殊											
F-750-2S-45	1300×2300	1100	2275×2910	3300	1250	1650		850	1425	770	995	1195	1155	855	375	420	400	95
F-750-2S-60																		
F-1000-2S-45	1700×2300	1300	2675×2910					950	1725	770	1195	1195	1355	1055	375	420	400	195
F-1000-2S-60																		
F-1500-2S-45	2200×2400	1700	3175×3010					1150	2025	770	1445	1245	1605	1305	375	420	400	245
F-1500-2S-60																		
F-2000-2S-45	2200×2800	1700	3175×3410					1150	2025	795	1445	1445	1605	1305	400	445	425	245
F-2000-2S-60																		
F-2500-2S-45	2400×3000	1800	3380×3610	1200	2180	870	1545	1665	1725	1405	475	520	500	295				
F-2500-2S-60																		

[注] ①昇降行程が30mを超える場合は、当社にご相談ください。

②昇降路内法はビット防水仕上の有効寸法です。

また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

③以下の条件の時、ビット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。

・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び

・開閉機器点検口を設けられない場合

④昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。

⑤最大ビット寸法は2000mmです。

最大ビット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）

⑥ビット下部は原則として使用できません。

⑦昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。

耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。

⑧上表の昇降路内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。

適用ありの場合は下記寸法になります。

・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20

・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10

⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。

また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。

⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

(単位：kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
F-750-2S-45	41	37	62	31	6	104	99	9.7	6.9	9.5	5.2	1.8	1.8
F-750-2S-60						129	125						
F-1000-2S-45	46	41	69	34	5	122	114	11.1	7.8	10.8	5.8	1.8	1.8
F-1000-2S-60						152	143						
F-1500-2S-45	54	46	46	46	30	152	135	13.5	9.3	12.1	6.3	1.8	1.8
F-1500-2S-60						187	171						
F-2000-2S-45	60	51	50	50	32	177	152	15.0	10.4	13.7	7.1	1.8	1.8
F-2000-2S-60						219	192						
F-2500-2S-45	71	58	58	58	36	209	177	17.6	12.5	16.3	8.4	1.8	1.8
F-2500-2S-60						247	212						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

(単位：mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)	
		昇降行程 30m以下	
F-750-2S-45	3200以下	2935～3020	
F-750-2S-60			
F-1000-2S-45			
F-1000-2S-60			
F-1500-2S-45			
F-1500-2S-60			
F-2000-2S-45			
F-2000-2S-60			
F-2500-2S-45			
F-2500-2S-60			

[注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。

②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。

③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

④かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。